

農事組合法人 ナルミ農産

(新潟県長岡市)

～ 園芸作物栽培の労働力を農福連携で確保 ～



(農)ナルミ農産



えだまめ



かぶ、だいこん



さといも

経緯

- 平成6年2月、農事組合法人ナルミ農産を設立。
- 設立当初は水稲20haの栽培であったが、その後、水稲の規模拡大に加え園芸作物を導入し、平成29年には水稲52ha、露地野菜4ha（えだまめ、だいこん、さといも、体菜（たいな）等）、施設野菜13a（かぶ）の複合経営を展開。
- 平成24年には、加工場を新設し、漬物の6次産業化にも本格的に取り組む。
- 複合経営による栽培面積の拡大、多様な作物による通年栽培、6次産業化により、通年雇用の実現と安定した収入を確保することができたものの、労働力の確保が大きな課題となった。

取組

- 平成28年10月に「新潟県農作業受託サポーター配置事業」を活用し、福祉事業所と連携した「農福連携」の取組を開始。
- 委託した作業は、春期は水稲の苗箱洗浄、夏期はえだまめの収穫、冬期はだいこん、さといも、体菜（たいな）、かぶ等の収穫。
- 障がい者は、自然の下で時期や作物によって変わる作業を楽しみながら、生き生きと取り組んでいる。

今後の展望と課題

- 水稲栽培面積も年々増加しフル稼働の状態であり、これ以上園芸作物の規模拡大はできない状況。
- 収穫作業は天候に左右されるので、計画どおりにならないこともあるが、福祉事業所との農福連携は順調に進んでいる
- 農福連携により、年間を通じた労働力の確保と経営の健全化を図ることができたので、今後もWin-Winの関係を続けていきたい。